

つながれ ひろがれ・

Vol. 9 0

編 集 環境パートナーシップちば 代表桑波田和子 事務局 千葉市中央区中央港1-11-1 (一財)千葉県環境財団業務部 環境活動支援課

電 話 043-246-2180 FAX 043-246-6969

平成 24 年度環境学習指導者養成関連講座 実施業務受託を終えて

平成24年度の環境学習講座は、さる2月6日 をもって全ての講座の開催を終わり、県に報告書 を提出して受理していただいたところです。いく つかの課題は残るものの、みなさまのおかげで今 年度も受講生に好評な講座を実施することができ ました。事務局一同、心からお礼申し上げます。 この事業は次の4つの講座・コースがあり、環パ はこの中の教員コース以外の3つの企画と実施を 担当しました。

(1) 環境学習指導者養成講座

- ・ 導入コース (活動・指導経験のない人が対象)
- 発展コース (活動中・指導中の人が対象)
- ・ 教員コース
- (2) 環境学習指導技能向上講座 (指導経験が原則として2年以上の人が対象)

1. 参加人数

導入コース (定員 40 名): 27 名 / 発展コース (定員30名):26名 / 技能向上講座(定員20 名):22名 ということで、導入コースの受講生 の集まりが良くなかったことが、昨年度に引き続 きの課題です。最初に開催するために広報期間が 短いこと、経験のない方にとって「指導者養成」 という言葉のハードルが高いのではないかとも考 えられました。また、発展コースと技能向上講座 の受講生は、その前段の導入コースと発展コース の修了生に引き続き受講していただけたため、受 講者数が確保しやすかったと言えます。

2. 受講者の特徴

今年度の受講者は比較的若い年代の方が多かっ たことは大きな特徴でした。これはこの講座のこ とをウェブで知ったという人が多かったことと関 連していると思われます。また、男性が多く、女 性が少ないというのも興味深いことでした。この 理由が分かれば、来年度以降の女性受講者を増や すことができるかもしれません。

3. 受講生の評価

各講座の修了時アンケートで「大変満足、満足」

という回答は、導入コース:94%、発展コース: 95%、技能向上講座:90% で、受講生のみなさ んには高い評価をいただけました。

それぞれのコースの中で特に評判のよかった講 座は、導入コース:バスツアー(和郷園の見学な ど)、発展コース:自然体験の環境学習を学ぶ講座 (谷津干潟)、技能向上講座:ファシリテーション 入門(青木将幸氏)であることの他、講師の方の お人柄や熱い思いも、受講生の反応につながって いるとの感想も持ちました。

4. 次年度へ向けての提案

昨年度、今年度とこの事業を受託して、より良 い講座にするための提案も報告書の中でさせてい ただきました。

- * 現在はチラシの広報を基本とすることになっ ていますが、チラシはほとんど受講申込につな がっていないことがわかりました。チラシでも、 説明しながら手渡しして勧誘することが必要 でした。また、インターネットをさらに活用し た広報や県民だよりに募集を掲載すること。
- * 導入コースの受講者数を増やすために、初心者 が参加しやすい内容に見直すこと。
- * 現在は平日に開催している技能向上講座は、学 校や仕事を持った若い世代には参加しにくい ので、これも土日に開講すること。
- * 講座の修了生は学んだことを実践する場を求 めているのに、活躍の場がないことから、県と しても修了生の実践の場づくりを検討してほ

環パの環境学習プロジェクトチームでは、来年 度以降も環境学習指導者の養成に力を入れるほか、 プロジェクトチームとして実践の場を増やす努力 もしていこうと考えております。これらのことに ついては、4月21日の総会後のエコサロンでも 意見交換をしていきたいと思いますので、ぜひエ コサロンにご参加ください。お待ちしています。

(環境学習プロジェクトチーム 小倉久子)

平成25年度環境パートナーシップちば総会開催のご案内 では25年度環境パートナーシップをは総会開催のご案内

平成 24 年度の当会の活動は、「エコメッセ in ちばの事務局」と「千葉県環境学習指導者養成講座の受託事業」が大きな取り組みでした。この事業を通して、ますます協働の取り組みを推進していく必要を感じています。さらに市民力をアップして活動を着実にし、これからの当会の方向を見定めて歩みたいと思います。

当会の団体会員及び個人会員の皆さまへの呼びかけなどまだまだ十分でないと反省いたしております。「つながれ ひろがれ」を合言葉にしていますが、会員の皆さまからのご意見を頂きニーズを

日時: 平成25年4月21日(日)

場所:千葉市文化センター会議室2(9階)

第1部 総会 13:00~14:00

☆平成24 年度事業・会計・会計監査報告

☆平成25年度役員改選・新役員紹介

☆平成25年度事業計画(案)・予算(案)

第2部 エコサロン及び交流会 14:30~16:30

※総会終了後、環境学習についての話し合い「環境学習大集合」を開催します。

★4 月エコサロン★

テーマ「環境学習大集合」

話題提供者:小倉久子(当会環境学習担当)

参加費:500円(資料代含む)



知り、具体的な活動を展開していきたいと思います。このようなことを踏まえ、25 年度を歩むために以下の日程で総会を開催します。ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。

第 1 部は、総会を開催し、総会後の第 2 部は、 交流会(エコサロンも兼ねます)を行います。

交流会のテーマは「環境学習大集合!」です。 日ごろ環境学習を展開されている方のご意見等を、 是非この場でお聞かせください。そして、今後の 活動や方向などを皆さまで話し合いたいと思いま す。



住所: 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

Tel: 043-224-8211

〈電車をご利用の場合〉

JR総武線「千葉駅」、京成千葉線「千葉中央駅」 より徒歩10分

〈千葉都市モノレールをご利用の場合〉

「葭川公園駅」下車徒歩3分

〈バスをご利用の場合〉

「千葉銀行中央支店前」バス停下車徒歩1分 「中央2丁目」バス停下車徒歩3分

〈車をご利用の場合〉

京葉道路「穴川インターチェンジ」から約20分

〈駐車・駐輪場について〉

千葉市文化センター(千葉中央ツインビル2号館) 地階 有料駐車場 午前8時~午後11時

★第56回 エコサロン★

テーマ「環境学習大集合!」 話題提供者:小倉久子(当会環境学習担当)

参加費:500円(資料代含む)

今回のエコサロンでは、いろいろな方に参加していただいて、所属している団体で行っている環境学習のこと、これからやりたい環境学習プログラム、学校や公民館などへの働きかけの仕方、地元市町村との連携の仕方、なやみ、etc. について出し合い、情報交換していきたいと思います。

総会の後ですが、会員でない方も歓迎です。また、エコサロンのみのご参加も OK です。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。

エコメッセ 2013in ちばご案内



多くの団体、企業のみなさまの出展をお待ちしております! また、昨年に引き続き「環境協働 創造市」(常設市)を開催し、団体間のお見合い、交流、マッチングを支援します。多くの団体様 の参加をお願いします。更に、イベント実行に協力してくださる実行委員も広く募集しています。

開催:2013年9月28日(土)10時~

テーマ: つながれ、ひろがれ、エコメッセ

「ちば最大の環境活動見本市」

会場:幕張メッセ国際会議場 主 催:エコメッセちば実行委員会

募集要項:ホームページをご参照ください。 http://www.ecomesse.com

問い合わせ:エコメッセちば実行委員会事務局

TEL 080-5374-0019 FAX 043-246-6969 (一財) 千葉県環境財団

業務部環境活動支援課気付

昨年の開催概要

- ◆出展団体数 140
- ▶来場者数 12,000 人
- ◆企画展示

環境創造市/エコステージ/エコクイ ズラリー/エコカー展示・試乗会/千葉 の里山・田舎暮らし物産展/千葉の川 と水探検館/まるごみ '12~100 年 たっても地球となかよし~/iccs 公認 缶つぶし大会/「ちとらくん」~あな たの運転能力は?/「どうとりくむか、 これからの新エネルギー」

ネットを活用した資金開拓に挑戦! ~クラウドファンディング入門~

日時:平成25年3月6日(水)

午後1時~午後4時30分

場所:千葉市ビジネス支援センター

主催:千葉県環境生活部県民交流・文化課

NPO 団体に不足しているものは、「人」「もの」 「金」とよく言われます。 NPO が自立して活動を 継続していくためには、補助金・助成金を頼りに するだけでは、難しい局面があります。この度、 千葉県県民交流・文化課が主催して、市民活動を 対象とする資金開拓セミナーが開催されましたの で参加してきました。

クラウドファンディングとは、ネットを活用し て広域かつ不特定多数の人々から、取り組みたい プロジェクトに対して支援を募るものだそうです。 ※クラウド(crowd)は、「群衆」、ファンディン グ(funding)は、「資金調達」を意味する。

まず初めに、国内のクラウドファンディングの 草分け的な存在であり、最大手である 「READYFOR?」運営チーム主任の米良はるか 氏(オーマ株式会社 READYFOR?チーム)か ら講演がありました。大まかな内容は、資金集め を開始し、目標額を達成しない場合は、支援金は 支援者に全額返金となり手数用は不要です。目標 額を達成した場合は、集まった金額の17%手数 料を支払うことになります。また、支援金を受け 取る代わりに支援者が喜ぶリターン(例:チケット 等)を用意するそうです。例として名古屋市東山動 物園のコアラの餌代を集めるプロジェクトを、名 古屋市、東山動物園が実行し、200万円の目標 額に対して20日間で600人のスポンサーから、 430万円の支援金が集まったそうです。

続いて、事例紹介では、①館山をもっと元気に! 歩いて行ける無人島フェス『あわのネ』 ②第二の 故郷でつどう、つながる、つくるシェアスペース KANAYABASE のクラウドファンディングに成 功した体験報告でした。活動内容は①は音楽とア ート、海を使った様々な体験等を主とした野外イ ベント『あわのネ』で目標額15万円。②は10 年間放置されていた旧ホテル&フリーハウスを活 用する街づくりで、目標額50万円で、2団体と も目標額は達成しています。報告者は若い二人で したが、支援していただくためには、知人やその 他の人にフェイスブックやツイッター(Twitter) 等活用して、事業を広く広報したそうです。 READYFOR?や CAMPFIRE(キャンプファイヤ ー)など、事業の目的により選ぶと良いともアドバ イスがありました。提案する事業は、人々が、こ れからの寄付社会に向けて、NPO 団体が社会から 信頼され支援していただけるような活動や広報、 ネットワークの活用が必要だと思いました。

(文責:桑波田)

「環境パートナーシップちば」だより 90号 平成25年3月30日発行 ~ 奇跡の原っぱ~ そうふけっぱらのキツネを守ろう! ―シンポジウム報告と署名のお願い―

印西市の「そうふけっぱら」(そうふけ=草深: 地名)は、今では貴重になってしまった動植物の サンクチュアリとなっています。ここにはなんと、 キツネまで住んでいるのです!ところが、ニュー タウン事業が平成 25 年度末に終了することにな り、UR(都市再生機構)は事業終了までに造成し てしまおうと、この場所でも樹木の伐採や土地造 成二自然環境の破壊が始まってしまいました。

亀成川を愛する会では、このことを広く訴える ために、2013年2月9日にシンポジウム「そう ふけっぱらのキツネを守ろう!」を開催しました。 プログラムは次の通りです。

- ・印西の民話「そうふけっぱらのきつね」の素話 ささのは会 篠原年枝氏
- 「奇跡の原っぱ『そうふけっぱら』を次世代へ」 日本自然保護協会 高川晋一氏
- •「むかし、むかし、そうふけっぱらは・・・」 前 白井市文化財審議会会長 天下井 恵氏
- 「里山にすむキツネ」

東京農工大学准教授 金子弥生氏

当日は 147 名もの方が参加してくださいまし た。このシンポジウムの様子は亀成川を愛する会 のブログ(2013年2月14日)に詳しく載ってお りますので、ぜひご覧になってください。

(http://blog.livedoor.ip/kamenarigawa/)

シンポジウムでは、多くの参加者から応援の声 が上がりました。その声をひとつにまとめるため に、会では署名活動を開始しました。

署名では、売れる見込みもないままむやみに造 成工事をせず、豊かな自然環境を活かしたまちづ くりをするほうが千葉ニュータウン事業そのもの に大きな付加価値をつけることができることを訴 えています。

署名用紙はご指定の住所にお送りしますので、 下記にご連絡ください。 会の HP からもダウンロ ードできます。皆様のご支援をお願いいたします。

<亀成川を愛する会事務局>

080-3594-6267

kamenarilove@yahoo.co.jp

(亀成川を愛する会 小倉久子)

里山再生と生物多様性の力

持続可能な生態系サービス指針としての 一トキ(鴇)再来の夢 いちはら里山クラブ 風間俊雄

平成25年2月17日(日)市原市五井(五井会 館)において、里山シンポジューム(分科会)の 一環として、標記件名のシンポジュームが開催さ れました。なぜこの会が市原市で開催?実は市原 市は太平洋岸での最後のトキの飛来地でもあった とのことでぜひこの地でとのことから実現したわ

当日は90名もの参加者を迎え、10時から 16時までと長い時間をかけ、非常に質の高いシ ンポジュームができました。

佐久間市原市長の挨拶から始まり、基調講演と して、蘇 雲山氏(環境文化創造研究所参与・主席 研究員)による「トキの里づくりと生態農業」と いうタイトルで、中国の野生のトキの分布や現在 の(トキと農業との関わり)等を分かりやすくお 話しされました。

午後からは話題提供として、「関東生態系ネット ワーク構想とその現状」関氏、「冬季湛水の米づく りの実践とその将来」三門氏、「印旛沼流域での冬 季湛水試験結果」中村氏、「市原市での里山保全活 動とその将来」風間と多彩な顔ぶれの方々がその 研究と実績のもとにお話しされました。皆さんの 話により、トキが住める環境つくり、言い換えれ

ば(環境保全の大切さ)を教えていただきました。 私もここ市原市で里山保全活動をしている一人と して、これからも環境保全に少しでもお役にたて るような活動を心がけなければとの思いを強くし ました。

ここ市原市は里山保全活動をしている市民活動 団体が非常に多く、また行政もその活動に対して の協力体制が確立されていて、市原里山交流会や 里山地域懇談会等の主催もしていただいており、 一般市民を含め団体間のネットワーク作りもでき 上がってきているように感じていますので、さら に活動を深化して、きっと近い将来この(市原市 の空をトキが飛ぶ) のが見えると信じて日々活動 に励みます。



やちよ里山シンポジウム2013開催報告

テーマ: 八千代の里山の魅力を知る ~あなたの里山魅力は何ですか?



日時:平成25年3月2日(土)

午後1時~午後4時30分

場所:ふれあいプラザ 参加者:100名

主催:八千代市環境保全課

毎年春が訪れる頃、八千代市環境保全課では、 「やちよ里山シンポジウム」を開催しています。 会場のふれあいプラザは、佐倉市と八千代市の境 界の毘沙谷津にあり、プラザからは豊かな里山景 観が眺められます。

基調講演は、「里山と生態系サービス」〜里山と 子どもたちの未来~を、中村俊彦氏(千葉県自然保 護課生物多様性センター副技監(併任)県立中央 博物館副館長)から学びました。里山は、食品等の 農産物の供給サービス、気候等の制御・調整の調 整サービス、文化・歴史などの文化サービス、土 壌などの基盤サービスという視点で見ると、人間 との関わりが深く、また不可欠のものであると理 解しました。特に子どもたちの里山体験は、心身 の成長に重要な役割と場を持っていると話されま した。

里山活動は、平成22年度に策定された「八千 代市谷津・里山保全計画」の実行として、里山楽

校、生き物調査、湧水調査、ヤマトミクリの里づ くり、ふれあいプラザで里山観察活動などについ て、活動している団体からの報告です。八千代市 内の6つの谷津・里山の生き物調査からは、ヘイ ケボタルの生息地が新たに発見される一方、道路 開通などにより消えていく動植物もあり、それぞ れの谷津・里山の生物の特色や魅力が分かりまし た。また、里山人材育成事業の里山楽校、谷津・ 里山保全活動のモデル事業の一つとして展開して いるヤマトミクリの里づくりや、同じ里での湧水 調査の報告もありました。報告は10分間と短い 時間でしたが、パワーポイントや資料、口頭とそ れぞれ個性豊かに、的確な報告でした。中村講師 からは、「市民調査等が継続していることは良いこ とである。一方、市内の谷津・里山の景観を活か した計画的な街づくりが必要です」と結ばれまし

市民参加型のシンポジウムでした。また、大学 生の参加やふれあいプラザの里山に関する活動も、 今後の里山保全活動に期待をもちました。

(文責:桑波田)

第55回環境パートナーシップエコサロン報告

今回のエコサロンでは、NPO 活動推進の役割を 千葉県庁で以前担当されていたお立場から当会会 員 TEA-NET の内山真義様から「今どきの NPO 法人」をテーマに平成25年3月5日(火)ちば 市民活力創造プラザでお話をうかがいました。

平成 24 年4月から改正特定非営利活動促進法 が施行されるとともに、地方自治体が認定主体と なる新たな認定制度がスタートしたり、様々な市 民ファンドも活用できるようになって、市民活動 が大きく変化しているという状況を皆様にお伝え する必要があると考え、今回開催しました。

はじめに、NPOって何? ボランティアとNP 〇の違いは?「非営利団体」の「非営利」とは何? NPOは報酬をもらえないの?NPO法人とは 何?法人格取得のメリットは?NPO法人の設立 手続き、義務などの一般的な疑問にも答えられる ようにご説明いただきました。千葉県環境生活部 県民交流・文化課が「NPO法人をめざす県民の ための説明会」毎月県庁を会場に開催しています。 10 名以上集まれば出前説明会などもありますの

で、千葉県NPO・ボランティア情報ネット http://www.chiba-npo.jp をご覧ください。

新たな認定制度については、認定 NPO 法人制 度にかかる根拠法が現行の租税特別措置法から NPO 法へ変更され、認定事務の実施主体が現行の 国税庁から所轄庁(都道府県知事及び政令指定都 市の市長)へと変更になり、NPO 法人の認証も認 定も所轄庁が行うことになったこと。更に、設立 後間もなく活動実績が少ない NPO 法人にも税制 優遇の対象を広げるため、設立5年未満の法人が 一度だけ利用できる制度として寄附に伴う税制優 遇(1.個人が寄附した場合の寄附金控除、2.法人 が寄附した場合の損金算入限度枠の拡大、3.相続 人が寄附した場合の非課税)の対象となる「仮認 定制度」が導入されることとなったことがあり、 市民活動の大きな変化が期待されるとのお話をい ただきました。参加者からは、各々の立場、状況 でのご質問があり今後の活動の参考になったと思 いました。

(文責/横山清美)

2012 年度関東コーディネイター学びあいプロジェクト報告

2012年度のESD-Jの事業として、関東10県(新潟、静岡、山梨、茨城、栃木、群馬、埼玉、神奈川、千葉、東京)から現場のコーディネイターが集まり、ESDコーディネイター育成カリキュラムとテキストブックの開発を目標に2012年度8月から2013年2月まで4回の会合があり、ELCoの会(当会が事務局役)を代表して参画してきましたので、ご報告させていただきます。このプロジェクトのねらいは、既存の様々なコーディネイターにESDの視点(①~⑦)を持ってもらっことでした。

- ① 地域の持続可能性、世界の持続可能性を視野に入れたビジョンを持っている
- ② 地域の課題に取り組む一員としての自覚を持っている
- ③ 市民のエンパワーメントを促進する
- ④ 多様な主体(教育現場を含む)の参加と協働を 促す
- ⑤ 多様な課題を把握し、分野横断的な活動を促す
- ⑥ 様々な主体が社会的責任を果たせるように働きかける
- ⑦ 持続可能な社会に向けたビジョンの実現に向 け道筋を示し、プロデュース、マネジメントす る

- ●ESD の視点を持ったコーディネイターを育成 することが重要という共有ができ、作成に入り ました。
- ●コーディネイターの必要性の見える化とコーディネイターの仕事をどう評価するか(評価方法、基準)という課題について検討しました。共同評価(自己評価×他者評価)が必要で、特に対象者にコーディネイターがいなければできなかったことを明確にする、成果のプロセスを見せることも大事、などなど。これをは、コーディネイターの社会的認知や資金を獲得する上で重要であると考えています。
- ●コーディネイター養成講座中級編を自分の現場を持っている人を対象に、コーディネイターに共通する必要な力を学び、OJT(現場教育)を行うことが前提、中間や出口での支援が大事というコンセプトで作成提案しました。実証実験に2013年度茨城が手をあげていますので応援したいと考えています。
- ●総合的なコーディネイターをどう経済的に支えられる仕組みを作るのかが課題ですが、2014年に向けての ESD-J の今後の活動にご期待ください。

(文責・横山)

「ESD-J」は、2005年から始まった「ESD の 10年」を追い風として、市民のイニシアティブで "持続可能な開発のための教育" を推進するネットワーク団体です。ESD に取り組む、NGO/NPO・教育関連機関・自治体・企業・メディアなどの組織や個人がつながり、国内外における ESD 推進のための政策提言、ネットワークづくり、情報発信を行っています http://www.esd-j.org/

「再生可能エネルギー普及」シンポジウム in GEOC報告

「再生可能エネルギーの将来と展望」及び「島から学ぶ自然エネルギー」のシンポジウムを地球環境パートナーシップブラザにて平成25年2月28日開催した。

昨年9月17日エコメッセ開催時に、自然エネルギーの活動をされている著名な方4名をお招きして、「県内での新エネルギー普及施策」のパネルディスカッションを実施した。その時、再生可能エネルギー活用の普及活動を地域で進めようと、参加者から多数の意見が出され、今回はその活動の一環としてシンポジウムを開催した。

現在電力を自給自足している屋久島の紹介を杉浦英世(かごしま・島交流の会事務局長)に、国内での「再生可能エネルギーの将来と展望」を倉阪秀史先生(千葉大学



大学院教授)に講演して頂いた後、参加者学生数人を含む50名がA、B、C、D、E、F、1グループ8名ずつに分かれ、再生可能エネルギーの普及活動に対しての意見交換を行った。

各グループの代表が意見交換の結果を発表し、

倉阪先生にその意見のアドバイスをして頂いた。意見の内容は、再生可能エネルギー活用の普及の重要性、普及するためには、地域での取り組みが不可欠であること、その



ためにはもっと一般市民の教育と活動団体とのネットワークの構築が必要であるとまとめられた。

(文責 斎藤)

県内の環境保全活動人(団体)紹介 一 おききしました! この人・この団体

ちば里山センター紹介



特定非営利活動法人ちば里山センター 事務局 松永美知子

はじめまして、特定非営利活動法人ちば里山セ ンター事務局の松永と申します。

このたび「特定非営利活動法人ちば里山センター」 をご紹介ください、という依頼を受けまして、感 謝しています。ご存知の皆さまも多いとは存じま すが改めて、紹介をさせていただきます。特定非 営利活動法人ちば里山センター(通称ちば里山セ ンター) は平成 16 年任意団体ちば里山センター として発足しました。現在は特定非営利活動法人 です。ちば里山センターを紹介するときには、里 山条例抜きには語れません。里山条例とは「千葉 県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」 のことで、平成15年3月7日公布、同年5月 18 日に施行されました。 ちなみに 5月 18日は 里山の日です。ぜひ千葉県のホームページをご覧 ください。(http://www.pref.chiba.lg.jp/

shinrin/satoyamahozen/jourei.html)

ちば里山センターは定款の目的に以下のように 定めています。

(目的)

第3条 この法人は、広く県民及び企業に対して、 里山及び里山活動に関する理解及び関心を深める 事業、里山整備等の活動への積極的な参加を促進 する事業、里山活動への参加と里山活動団体を支 援する機運の醸成を図る事業等を千葉県里山の保 全、整備及び活用の促進に関する条例(平成 15 年千葉県条例第5号。以下「里山条例」という。) の精神に沿って実施し、以て農林漁業者と県民及 び企業の連携による地域づくりに貢献し、山・川・ 海を含む房総の原風景である里山の保全・再生に 寄与することを目的とする。

具体的には、ちば里山センターは里山活動への 多様な参加を応援しています。主に里山団体や土 地所有者、企業、個人を互いに結び付けるサポー トをしています。また、活動を広く知っていただ くために、会報の発行、里山シンポジウムの支援、 エコメッセ in ちば、エコプロダクツ等県内外のイ ベントなどにも参加しています。さらに里山に関 する技術講習会など開催しています。詳しくは、

当会のホームページ(http://chiba-satoyama. net/) をご覧ください。

里山センターの会員の参加のきっかけはさまざ まですが美しい千葉の姿を未来につなぎたい思い は同じです。

先日カタクリの南限群生地を見てきました。市 民による保全と再生で守られています。この季節 は里山が美しくて、芽吹きの頃はほっこりとした 里山にうっとりしてしまいます。

生活様式の変化や農林業生産方法の変化により、 人とのかかわりが薄れ、里山の良さが損なわれつ つある中にあって、市民・企業・行政そして土地 の所有者が協働をして、守っている里山は見事に 再生をしているところが県内あちこちにあること はうれしい限りです。

私たちは一瞬たりとも息を止めることなく、空 気の存在は考えることもなく暮らしています。自 然からの恩恵のこともいちいち考えることはない のですが「ちょっと待てよ!!」とふと考えれば どれほどの恩恵にあずかっていることだろう。森 や里山の木々からの恵みなしには生きられるのだ ろうか?生きられないですよね~。里山活動を実 践する人々の公益に資する活動は絶大と思いませ んか?そんな一人ひとりの思いや活動を応援する のがちば里山センターなのです。私は里山活動を 実践する人、活動を応援する人・応援する企業・ 行政全てが里山の守り人と思っています。一緒に できるところで無理のない範囲でのかかわりから 始めてみませんか?

ちば里山センターへの問い合わせをお待ちして います。

お問合わせ:

T299-0265

袖ヶ浦市長浦拓 2号 580-148

電話:0438-62-8895 FAX: 0438-62-8896

E-mail: info@chiba-satoyama,net

運営委員会報告

環パ通信【メルマガ】ご希望の方はアドレスを info@kanpachiba.com にお知らせください。 (広報部)

2月運営委員会

日時 2月21日(木) 18:00~20:55 場所 船橋市民活動センター

【報告】

- 技能向上講座終了、養成講座は報告書作成中
- ・ナガエツルノゲイトウについて千葉市環境保 全課と相談
- ・レスポンシブルケア千葉地区地域対話集会
- エコメッセちば実行委員会開催

【協議】

- だより90号
- ・エコサロン
- 24 年度の活動ふりかえりと 25 年度の活動 方針の検討(継続審議)

3月運営委員会

日時 3月21日(木) 18:00~20:55 場所 船橋市民活動センター

【報告】

- エコメッセちば実行委員会開催
- 新エネルギー講演会開催:発送電分離について
- エコサロン(3月5日)今どきのNPO法人
- その他

【協議】

- だより90号
- ・エコサロン(4月21日)
- 24年度の活動のふりかえりと 25年度活動方針の検討(継続審議)
- 総会開催日(4月21日)

お知らせ

第10回里山シンポジウム テーマ:里山 これまでの10年 これからの10年

日時:5月18日(土) 10 時~17 時

会場:千葉経済大学 千葉市稲毛区轟町 4 丁目 3-30

資料代:500円

主催:里山シンポジウム実行委員会 HP: http://www.satochiba2.jp/

共催:NPO法人ちば里山センター 千葉県

プログラム:記念講演:「環境革命の時代が」一里山と都市その時代的価値を巡って一

講師:涌井史郎(雅之) 東京都市大学教授 国連・生物多様性の 10 年国内委員・委員長代理

午前:プレシンポ 「4つの生態系サービス」

- ① 野生動物・地域など「基盤サービス」
- ② 森林・林業・食糧など「供給サービス」
- ③ 水循環・汚染物質・ゴミ問題など「調整サービス」
- ④ 医療福祉・ 芸術・観光などの「文化サービス」

午後:分科会報告及びパネルディスカッション/記念講演会

再生紙使用

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推 進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるや かな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、 行政及び専門家とのパートナーシップによる活動 の展開を図ることを目的としたネットワークで す。

入会申込先:(一財)千葉県環境財団

業務部環境活動支援課 気付

TEL: 043-246-2180 FAX 043-246-6969

Eメール: info@kanpachiba. com

会費納入先:環境パートナーシップちば

郵便振替口座 00160-9-401872

<環境パートナーシップちば> 入会申込書

会の趣旨に賛同し(個人、団体、賛助会員として) 会費を添えて(郵便振替)入会します

氏名			入会年月	日	
住所	₹				
Eメール					
TEL			FAX		
年会費	個人 1,000 円	団体	2,000円	賛.	助会員 5,000 円